

産 業 建 設 常 任 委 員 会 報 告 書

会 議 日 時	平成 2 3 年 8 月 8 日 (月) 8 時 4 5 分 ～ 1 6 時 3 0 分			
会 議 場 所	●議員控室 ○委員会室 ●現地 (場所 : 志和、興津)			
出 席 者 数	委員 7 名のうち 6 名			
出 席 委 員	委 員 長	堀本 伸一	委 員	岡峯 久雄
	副委員長	竹内 常喜	委 員	津野 吉得
	委 員	槇野 章	委 員	森 健吉
欠 席 委 員	委 員	橋本 隆成		
事 務 局				
者	志和地区	山野上氏、他 2 人の合計 3 人		
	興津地区	浜口氏、他 1 人の合計 2 人		
傍 聴 者				
付 議 事 件	志和、興津地区における、漁業関連漁礁の調査及び関係者との意見交換。			
審 査 ・ 調 査	築いそにおける漁礁の設置は、興津地区が昭和 5 7 年より平成 8 年までの期間、志和地区では、昭和 6 2 年より平成 7 年まで年次計画の基、国・県・町の補助金、制度事業を活用し実施している。			
	長期による制度事業を導入して来たことの事業成果、問題点、漁業者の現況を聞き取り調査した。			
	【志和支部、興津漁協での聞き取り調査、意見交換会の主要意見のまとめ】			
	○制度事業の成果は			
	志和、興津両地区ともに漁礁設置は多大な成果を成してきた。			
	○現在、漁礁の導入が継続されない理由は。			
	新沿岸漁業構造改善、水産業地域改善対策事業の制度を活用してきたが、平成 13			

会 議 日 時	平成23年8月8日（月） 8時45分 ～ 16時30分		
	年時限立法の終わりとともに一般対策に移行。事業に対する地元負担金の問題が生じる。課税客体の弱い漁業者には負担が重く、現在、事業要望が絶えている。		
	○漁業の将来構想、後継者問題は。		
	志和地区：台風等で漁礁が崩れていくとエビの生息にも影響が出る。あわせて、サザエ、アワビ等、貝類については、近年不漁続きの状況にある高齢者ばかりの漁業は、将来の見通しに難点がある。		
	興津地区：事業の成果に伴い魚種は豊富である。漁師としての努力、研究で生業としての努力、研究で生業として成り立たないとはいえないが高齢者、後継者不足は同様である。		
	○漁礁の必要性は。		
	両地区ともに、できるものなら新設置や崩壊漁礁の改善を望む。		
反 対 意 見	反対意見なし		
報 告 日	平成23年8月12日（金）	委員長署名	堀本 伸一